

平成27年

壱岐市議会定例会12月会議

行政報告

壱岐市

目 次

はじめに	1
（1）第2次老岐市総合計画と老岐市まち・ひと・しごと地方創生人口ビジョン・総合戦略について	2
（2）社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）について	3
（3）4庁舎耐震診断結果について	4
（4）離島振興について	4
（5）長崎県への要望活動について	5
（6）大学との連携について	5
○交流人口の拡大	
（1）観光振興について	6
（2）婚活事業について	8
○産業の振興	
（1）農業の振興について	9
（2）水産業の振興について	11
（3）商工業の振興について	12
○市民	
（1）市立特別養護老人ホームの経営移譲について	12
（2）第29回全国健康福祉祭ながさき大会（通称：ねんりんピック長崎2016）について	13
○教育	
（1）勝本地区公民館について	14
○防災、消防・救急	
（1）防災、消防・救急について	14
（2）原子力防災について	15
議案説明	
（1）補正予算について	16
（2）その他の議案について	16
おわりに	16

行政報告

平成27年壱岐市議会定例会12月会議

〇はじめに

本日ここに、平成27年壱岐市議会定例会12月会議にあたり、前会議以降、本日までの市政の重要事項等、また今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

さて、平成27年秋の叙勲において、本市から、地方自治功勞として、元郷ノ浦町議会議員 にしお 西尾 かのう 叶様、元壱岐市議会議長 ふかみ 深見 ただお 忠生様が旭日双光章を、元壱岐市消防団副団長 やまぐち 山口 ひさみ 久美様が瑞宝単光章をそれぞれ受章されました。

また、本年度の県民表彰では、社会福祉功勞として保護司 おぼた の小畑 えいじ 英治様が、産業(商工)功勞として前壱岐市商工会長の やなぎさわ 柳澤 まもる 護様が、産業(水産)功勞として箱崎漁業協同組合代表理事組合長 にし 西 ひろし 寛様が、教育文化功勞として長年、学校医としてご尽力いただいている しながわ 品川 ごろう 護郎様、学校歯科医としてご尽力いただいている えだ 江田 かずお 和夫様がそれぞれ受賞されました。

この度、叙勲、県民表彰の榮に浴された皆様に対し、今日まで築かれたご功績に、深甚なる敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。

次に、去る11月11日午前8時48分頃、郷ノ浦町本村触の市道本町八畑線の八畑交差点において、本市囑託職員が運転する公用

車が、個人所有の車輛に追突し、車輛の損傷と運転されていた方に負傷させる事故が発生しました。事故後、直ちに負傷者の安全確保と警察等への連絡を行い、必要な措置を行っております。

事故の過失割合については、相手方の車輛が停止中であったことから、本市が10割であり、損害賠償の内容は、通院による治療費及び車両の修繕費などではありますが、損害賠償額全体については、自動車損害共済金で支払われる予定となっております。また、損害賠償額の決定に係る議案については、車輛の修理等に時間を要することから、次期以降の市議会会議において、改めて提出させていただきます。

なお、今回の事故に係る関係職員の処分については、今後、規定に基づき手続きを行ってまいります。

事故の相手方をはじめ、市民皆様に心からお詫びを申し上げますとともに、安全運転の徹底について、さらに厳しく指導を行ってまいります。

それでは、前定例会以降、本日までの市政の重要事項等についてご報告申し上げます。

(1) 第2次壱岐市総合計画と壱岐市まち・ひと・しごと地方創生人口ビジョン・総合戦略について

第2次壱岐市総合計画は、10月22日開催の市議会定例会10月会議において議決をいただき、向こう5年間の本市のまちづくりの基本方針と基本計画を定めたところであります。

また、壱岐市まち・ひと・しごと地方創生人口ビジョン・総合戦

略についても10月に策定を終え、10月29日にホームページで公表を行っております。

今後、本計画並びに本市の地方創生を全力で推進してまいりますので、議員皆様、市民皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

(2) 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）について

住民票を有する全ての皆様に、1人1つの12桁の番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用される「社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)」については、関連する「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆる番号法が10月5日に施行され、市民皆様には、11月22日から個人番号を通知するための「通知カード」が世帯ごとに簡易書留で送付されております。

平成28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続において個人番号の利用が開始されることに伴い、個人の申請により、所定の手続きを行っていただければ、個人番号カードの交付を受けることができます。これらの手続きを含めた、マイナンバー制度に係る市民皆様への周知については、広報用チラシの各戸配付、出前講座等による説明会、ケーブルテレビでの広報等を実施し、さらにご理解を深めていただくため、12月14日に芦辺町つばさ、16日に石田農村環境改善センター、17日に壺岐文化ホール、22日に勝本町かざはやで、マイナンバー制度に係る説明会を開催すること

としております。

なお、今回、平成28年1月からの個人番号利用開始に伴い、独自利用事務を規定し、庁内部局間における、特定個人情報の授受を行うために、番号法に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例案を提出しております。

(3) 4庁舎耐震診断結果について

本年6月から4庁舎の耐震診断を実施してまいりましたが、4庁舎とも必要な耐震性能を満たすための改修工事が必要であるという結果になりました。今後は、耐震診断結果及び各庁舎の現状や課題について検討を行い、耐震改修に係る基本計画を策定することにしております。この基本計画策定後、実施設計を行い、改修等の工事については、平成30年度完了に向けて取り組んでまいります。

(4) 離島振興について

国境離島新法制定に向けた取り組みについては、本法案の成立に向けて、大変なご尽力をいただいている自由民主党離島振興特別委員長である谷川弥一衆議院議員、金子原二郎参議院議員の強力なリーダーシップのもと、長崎県を中心に全国関係離島市町が一体となって、早期制定に向け、全力で推進してまいりました。しかしながらご承知のように、安全保障関連法案をめぐる情勢の中で、先の通常国会提出が断念され、次の臨時国会提出を目指すこととされておりました。その結果、残念ながら臨時国会の召集が見送られ、来年1月4日招集予定の通常国会への提案を目指す状況となっております。

今後も、「国境離島新法」の早期制定に向けて、国会議員の先生方を後押しすべく全力で取り組んでまいりますので、議員皆様、市民皆様の尚一層のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

(5) 長崎県への要望活動について

去る11月24日に、長崎県への壱岐市及び壱岐市議会連名の単独要望を行い、中村知事をはじめ幹部職員に対応していただきました。

要望項目は、「子ども・子育て支援について」「漁業燃油高騰対策について」「道路整備について」「クロマグロの産卵期における漁獲制限について」「唐津～壱岐（印通寺）航路フェリーあずさのリプレイス事業の早期実施及び唐津長崎路線レインボー壱岐号の運行再開について」「^{じょうが}嫦娥三島大橋、^{はるしま}原島大橋（郷ノ浦～大島～原島）架橋の早期実現について」「河川整備等について」「日本遺産認定を活用した事業の推進について」「勝本港に関連する施設整備等について」の9項目です。

中村知事からは、重要項目についてご回答いただきましたが、さらに、他の項目についても、ご検討いただくこととなっております。

今後も、こうした壱岐市単独要望については、意見交換を含め積極的に実施してまいります。

(6) 大学との連携について

大学との連携については、これまで長崎大学や長崎県立大学と地域振興や人材育成及び交流に関すること等について連携協定を締結しております。この度、法政大学が取り組まれる、MBA（経営学

修士) 資格取得を目指す外国人留学生のインターンシップ派遣先として本市が選定され、一定の期間、外国人留学生の受入れを行い、インバウンドの促進、産業の振興並びに地域社会の発展を担う人材育成と教育研究の向上を図るための連携協定の締結を12月18日に行うこととしており、来年1月から2月にかけて、留学生1名の派遣が予定されています。

○交流人口の拡大

(1) 観光振興について

本市における観光客数を推計するうえで参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの8月から10月までの乗降客数累計は、232,681人、対前年比11.9%の増で、本年は夏の期間中天候に恵まれたこともあり、海水浴客も大幅に増えており、多くの観光客皆様にご来島いただいたところであります。

情報発信・誘客活動として、9月にゆめタウン広島、10月に東京新宿駅での観光物産展、福岡天神中央公園でのうまいもの大食堂への出展、11月には東京での全国の離島が集まるイベント「アイランダー」2015への出展、長崎デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議への参加、福岡市において壱岐焼酎7蔵大試飲会の開催、また今回初めて、佐賀大和・うきは市の道の駅でも物産展を開催し、本市のPR等努めてまいりました。

また、本市の公認キャラクターである「人面石くん」が、11月21日から23日に静岡県浜松市で開催された、ゆるキャラグラン

プリ決戦投票イベントに出場しました。市民皆様をはじめ多くの皆様から「人面石くん」への投票をいただき、昨年の406位から今回は238位と躍進いたしました。ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。そのタイミングに合わせて、大手企業パナソニックの新商品「プライベートビューラ」のCMに、長崎県代表として11月26日から、ドラマや映画など多方面で活躍中の女優、綾瀬はるかさんと共演しております。「人面石くん」の活用による壱岐への波及効果も、大いに期待できることから、引き続き情報発信に努めてまいります。

外国人誘客いわゆるインバウンドの取り組みについては、11月9日から12日にかけて、中村知事を団長とする総勢140人で構成された中華人民共和国駐長崎総領事館開設30周年記念訪問団に参加し、経済や文化の交流を図るとともに、旅行社、雑誌編集社へ向けた商談会等PRを行ったところであります。

また、中国で有名な雑誌「外灘画報」^{わいたんがほう}の取材で俳優の陸毅さん^{るーいー}をはじめ18名の撮影団が一昨年に引き続き来島され、辰ノ島等での撮影が行われました。今後、壱岐の魅力を雑誌にて発信される予定であります。

文化交流の分野におきましても、11月23日に日韓国際交流文化祭で韓国から25名、11月25日に元寇ゆかりの地として「フビライハーンと神風」上映会でモンゴルから6名が来島されております。

今後の予定として、来年2月に台湾・韓国においての商談会を行

い、また、台湾の中学生バレーボールチームについても、昨年に引き続き招聘を予定しております。

なお、インバウンドの実績としましては、平成24年に90人であったものが、平成26年には372人、本年は現在のところ445人となっております。

次に、来年の干支である申にちなみ、日本奇岩百景にも選ばれた「猿岩」を活用し、年越しのカウントダウンイベントやライトアップ事業の情報発信に対して、今回所要の予算を計上しております。併せて、壱岐市へのテレビ取材等各テレビ局に働きかけを行っております。

また、壱岐市のPRのため、年賀状の絵柄に「猿岩」を活用いただきたく、本市のホームページに利用可能な「猿岩」の写真をアップしておりますので、ぜひご活用いただきますようお願いいたします。

今後も、あらゆる機会を利用し、観光PRや物産販売を行うとともに、県内離島の自治体や観光連盟と提携し、島の魅力の情報発信に取り組んでまいります。

(2) 婚活事業について

人口減少対策の一環として、婚活事業「第3回イキイキお結び大作戦」を11月14日・15日に開催いたしました。壱岐在住の男性参加者には、9月と11月に東京から全国で活躍する婚活マスターそうすけ高橋聰典先生をお招きし、コミュニケーション能力を高める手法や服装に関するセミナーを開催したところであります。女性参加者

も遠くは東京・千葉・埼玉からご参加いただき、男性19名・女性18名で開催したところ、14組のカップルが誕生いたしました。

今回の婚活イベントは、男性に徹底して男性力を高めるための講座を行うとともに、イベント中にもパーティー的な要素をなくし、真剣に相手と向き合える時間を多く持ちました。また当日は前段の高橋先生にもご来島いただき、雰囲気づくりや男女の悩み相談、そしてカップリングに向けたアドバイスなど支援を行っていただきました。ツアー参加者へのツアー満足度アンケートも5点満点中4.53点と非常に高い数字で、カップル成立率・ツアー満足度ともに大成功のイベントであったと考えております。

本イベントの目的はあくまで人口減少対策であり、今後も成婚・移住に向けて継続的にフォローアップを行ってまいります。

○産業の振興

(1) 農業の振興について

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の大筋合意を受け、今後参加国での承認手続きが行われます。TPPの発効により多くの農畜産物への影響が懸念されるため、市といたしましては、TPPに係る情勢に注視し、国、県の施策に対し関係機関と連携した取組を展開してまいります。

本年度の水稲作況指数は、県全体では100%でしたが壱岐においては101%とほぼ平年並みの発表がなされました。

11月26日現在の買い入れ実績ではありますが、早期米について

は、日照不足及び収穫期の低温等により高温耐性のあるつや姫が、1等34.9%、2等65.1%、一方、コシヒカリは1等60.5%、2等36.2%の成績となっております。

普通期米については、日照不足及び台風等により品質低下の被害を受けており、にこまるが2等84.2%、ヒノヒカリが2等100.0%となっております。

葉たばこについては、移植後の低温及び収穫期の天候不順が影響し、収量が反当222kgでしたが、10月8日から15日にかけて行われた収納・販売では、1kg当たり代金2,143円の高い品質で10a当たり代金476,746円の成績でありました。

畜産については、去る10月29日雲仙市で開催された「長崎県和牛共進会」において、本市から12頭が参加いたしました。出品者の皆様には、長期間にわたる御労苦に心から敬意を表すものがあります。全国和牛能力共進会・宮城県大会が2年後に迫っております。本番に向け、畜産農家、関係機関皆様には、さらなるご精進を賜りたいと存じます。

肉用牛経営における子牛の販売は、全国的に繁殖農家の減少に伴い高値で推移しており、本市においては、12月1日、2日の市において、平均710,703円、前回比102%の成績で、過去最高値での取引となっております。

一方、肥育農家においては、依然厳しい経営を強いられている現状にあります。

今後、高齢化・後継者不足等による繁殖牛の飼養頭数の減少等課

題解決に向けて、産地維持のため、繁殖基盤の強化等に努めてまいります。

また、国の施策により、昨年スタートした農地中間管理機構については、11月末現在、13法人・約200haが中間管理機構を通じて12月に契約締結予定となっており、今回所要の予算を計上しております。今後も、農地中間管理機構を通じての契約締結農地の集約化を推進し、経営基盤の強化及び耕作放棄地の拡大防止に努めてまいります。

農地・農業用施設等災害については、被災申請箇所17地区の現地査定が実施され、その結果、平均査定率が90.7%、査定額が2,086万8千円となりました。

今後、早急に事務手続きを進め、復旧工事に着手してまいります。

(2) 水産業の振興について

本年4月から10月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年同期と比較すると、漁獲量は2,132トン、26.3%の増、漁獲高は19億6千万円、33.4%の増といずれも大幅な増となっております。これは、春先のイカ漁が好調であったことや、燃油価格高騰対策として、重油、軽油1リットル当たり10円の補助事業による効果も考えられます。なお、燃油については、先に申し上げましたとおり、県に対し、国における漁業経営セーフティネット構築事業制度の改善等の国への働きかけと県負担分の上積みを要望しております。

今後も、水産業の振興に、各漁協をはじめ関係機関、団体と連携

を図りながら、全力で取り組んでまいります。

(3) 商工業の振興について

地方創生の地域消費喚起型・生活支援事業により、壱岐市商工会並びにJA壱岐市・市内各漁協と連携した「プレミアム商品券」については、子育て支援と併せ、5万5000セットを販売し、10月1日には完売いたしました。使用期限は12月31日までとなっておりますので、市民皆様のご活用をお願いいたします。

また、しま共通地域通貨事業「しまとく通貨」の県全体の販売状況は、10月末現在831,703セットを販売しており、既に年間販売予定額である90万セットの92.4%に達しております。平成28年3月末までに旅行商品に組み込まれる分を残し、窓口での一般に利用できる分については、10月21日をもちまして販売を終了いたしました。特に本市においては、他の市町と比べ、旅行商品での活用が著しく多い状況であり、本市への経済効果も多大なものがあります。このため、次年度以降の本事業の取り組みについては、現在、しま共通地域通貨発行委員会で協議を行っているところであります。

○ 市民

(1) 市立特別養護老人ホームの経営移譲について

市立特別養護老人ホーム及び同附属デイサービスセンターについては、9月30日をもって閉所し、10月1日から社会福祉法人「壱^い心会」に経営移譲しました。今後、壱心会のネットワークを活かし、

理学療法士や柔道整復師・鍼灸師などの派遣を行っていただけるとのことで、高齢者福祉のさらなる充実に繋がるものと確信しております。

壺心会において、平成30年度末までに新施設の建設と併せて、地域振興策としてご提案いただいている鯨伏中学校跡地を活用した介護福祉士養成校の開校に向けて、今回、旧鯨伏中学校校舎の土地及び建物の無償譲渡についての議案と施設の耐震補強工事に係る所要の予算を計上しております。

（２）第29回全国健康福祉祭ながさき大会（通称：ねんりんピック長崎2016）について

平成28年10月に「第29回全国健康福祉祭ながさき大会（通称：ねんりんピック長崎2016）」が開催されます。本大会は60歳以上の方々を中心とするスポーツと文化の総合的な祭典として各都道府県持ち回りで開催されている大会で、本市においては、ウォークラリー交流大会が開催されることとなっており、原の辻遺跡特設コースを会場に、約450人の皆様が参加予定となっております。去る11月1日には、同会場において、19チーム98人の皆様の参加によりリハーサル大会を実施いたしました。

「がんばらんば国体」同様、本大会が皆様の記憶に残るすばらしい大会となるよう、おもてなしの心を持って準備を進めてまいりますので、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。

○教育

(1) 勝本地区公民館について

昨年度より、建て替え工事を実施しておりました勝本地区公民館が、去る10月30日に完成し、12月1日から開館の運びとなりました。

建設期間中は、地域住民皆様に大変なご不便をお掛けしておりましたが、無事に完成することが出来ましたことに、あらためてお礼と感謝を申し上げます。

今後、新しい勝本地区公民館が、地域の活動拠点としての役割を十二分に果たし、市民皆様のご利用、ご活用により、地域の活性化に繋がることを期待するものであります。

○防災、消防・救急

(1) 防災、消防・救急について

本年1月から11月末日現在の火災・救急発生状況は、火災22件、救急1,502件となっており、昨年同期と比較いたしますと、火災が5件の減、救急が42件の減となっております。

平成21年6月から一般住宅への設置が義務付けられている住宅用火災警報器の設置については、本市では、設置率が約61%と県下平均の約81%を下回っております。設置したことにより、火災に至らなかった事例も多く報告されており、市民皆様の設置に対するご理解をお願いいたします。

去る11月8日に、石田町印通寺港一带において、平成27年度

壱岐市防災訓練を、33機関478人の関係者皆様の参加により、実施いたしました。今後も、関係機関と十分連携を図り、災害対策に万全を期してまいりますので、市民皆様には、日頃の備え、避難場所の確認など日頃より防災対策の確認をお願いいたします。これから、火災の発生しやすい時期となりますので、市民皆様には火の取り扱いなど十分ご注意くださいようお願いいたします。

(2) 原子力防災について

去る10月22日に、本市で3回目となる原子力安全連絡会が開催され、市、県、九州電力、各関係機関の代表20名が出席し、玄海原子力発電所に関する防災対策などの情報の共有化と意見交換を行ったところであります。

また、去る11月28日には、4回目となる玄海原子力発電所での放射能漏れ事故を想定した平成27年度長崎県原子力防災訓練が本市を含めた県内4市と、長崎県、佐賀県、福岡県の3県合同で開催されました。情報収集伝達訓練、災害対策本部設置・運営訓練、緊急時モニタリング訓練、緊急被ばく医療訓練、広報訓練、住民の避難・誘導訓練、島外への広域避難訓練など実践的な訓練を実施したところであります。

また、県により、本年、伝送機能付簡易型電子線量計を市役所初山事務所と三島小学校旧原島分校、印通寺港に設置予定であり、併せて各施設などに安定ヨウ素剤の追加配布も予定されております。

今後も、原子力防災対策に関係機関とも連携して取り組んでまいります。

次に議案関係についてご説明いたします。

(1) 補正予算について

本会議に提出しております補正予算の概要は、

一般会計補正額 1億2,523万7千円

各特別会計の補正総額 △6,828万8千円

となり、一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

5,694万9千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は

225億1,882万6千円

で、特別会計については

113億2,077万5千円

となります。

(2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、条例の制定及び一部改正に係る案件4件、予算案件5件、各辺地に係る総合整備計画の策定1件、その他3件の合計13件であります。

案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせますのでご了承願います。

何とぞ十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題等に対し、今後も誠心誠意、

全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員皆様並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

平成27年12月4日

老岐市長 白川博一